

第30回 建築生産シンポジウム

CPD申請中

建築生産シンポジウムは、建築生産分野の技術向上、研究・開発ならびに教育の発展を図るとともに、関係者に技術や研究に関する交流の場を提供することを目的としています。

建築生産にかかわる広範囲の領域から最先端の現状分析や将来展望などに関する成果が発表されます。

今回は第30回の節目となります。そこで「建築生産の30年 そしてこれからのために」と題して、過去30年は建築生産にとってどのようなものであったのかを振り返るとともに、今後ますます変化が予想される中、何を考え行動していけばよいのかを討議する場を設けました。

また建築生産分野の研究の発展のため、若手研究者の優れた論文／報告の発表に対し表彰を行う新たな試みも実施します。

より多くの研究者や実務者にご参加頂き、活発な議論や意見交換がなされることを期待しています。

主催 日本建築学会 建築社会システム委員会

期 日 2014年 7月31日(木)～8月1日(金)

会場 機械工具会館 6階ホール(港区芝 5-14-15) ⇨ <http://www.k-kaikan.co.jp/access.html>

※例年と会場が異なりますのでご注意ください。

定員 120名

参加費 会員7,000円、会員外9,000円、学生3,000円(資料代含む。当日会場でお支払いください。)

申込方法 Web申込みよりお申込みください。

https://www.aij.or.jp/index/?se=eventlist&ac=action&button_kind=3&button_id=839

問合せ 事務局研究事業 G/森田 TEL 03-3456-2057

■ 第1日目 7月31日(木)

講演時間(発表13分、質疑3分)

・開会挨拶 : 戸倉健太郎(三井住友建設、建築生産小委員会主査) 9:15～9:20

A 建築生産史

藤尾直史(東京大学)

正見泰(石川県金沢城調査研究所)

川島智生(京都華頂大学)

杉村佳愛(京都大学大学院)

木村正彦(ケイテック)

司会: 多葉井宏(竹中工務店) 9:20～10:40

素材・地域相関分業システムと江戸時代の建築生産

近世の城郭作事におけるコストダウン手法

一金沢城二ノ丸御殿表式台脇唐門の文化度再建を中心にー

明治大正昭和戦前期における京都府・京都市の営繕組織の設計体制について

明治後期における民間建築工事の設計と施工の体制

建設省誕生と建設業法制定の意義について

～これでやっと「建設業」の体を成した～

休憩 10:40～10:50

B 産業構造・コスト

五十嵐健(早稲田大学)

岩松準

(建築コスト管理システム研究所)

遠藤和義(工学院大学)

橋本真一

(建設物価調査会総合研究所)

司会: 蟹澤宏剛(芝浦工業大学) 10:50～11:54

建設産業の新たな発展に向けた経営課題の考察(2)

ーグローバル化とストック型社会の視点で考える発展の方策ー

アジアの建設市場と大手建設企業の動向: ENR調査データ等に基づく検討

建設業のキャッシュマネジメントを目的としたシミュレーションシステムの開発

木造住宅の工事費と価格変動要因に関する研究

昼食休憩 11:54～12:50

C 国際比較

趙幸庸(京都大学大学院)

片田匡貴(京都大学大学院)

司会: 曾我行雄(フジタ) 12:50～13:54

シンガポールの建築プロジェクトにおける Nominated Subcontractor の指定実態に関する研究

建築生産プロセスにおける躯体図の役割

岡安大地(芝浦工業大学大学院)
三原斉(ものづくり大学)

ーシンガポールでの建築プロジェクトを対象にー
ベトナムにおける日韓の生産方式に関する比較研究
日本と英国の大学におけるCMに関する教育の比較研究

休憩 13:54~14:05

D 施工法・施工管理

持田泰秀(立命館大学)
塚本政昭(フレスコ・ヴォ)
崔彰訓(東京理科大学)

司会: 稗圃成人(鹿島建設) 14:05~15:09

既存体育館の天井改修に関する考察(特定天井改修の試み)
東日本大震災における電気比抵抗調査を用いた沼地除染活動について
局部座屈した鋼部材の補修作業に関する研究
ー箱型補修方法の作業時間についてー
集合住宅における内装仕上工事の特性に関する研究
(その5)労務工数の平準化に関する考察

坂倉溪介(芝浦工業大学大学院)

E ICT活用

森下有(東京大学生産技術研究所)
嘉納成男(早稲田大学)

司会: 志手一哉(芝浦工業大学) 15:09~15:57

三次元スキャンと建築情報のユーザーに関する研究
施工シミュレーションに関する研究
工事現場における物流に関するモデル化とそのシミュレーション
モーションキャプチャーによる内装工事の作業分析に関する研究
ー作業者の運搬経路の3次元計測と分析手法ー

石田航星(工学院大学)

休憩 15:57~16:10

16:10~18:00

特別企画

「建築生産の30年 そしてこれからのために」

建築生産小委員会委員による報告及びパネルディスカッション

■ 第2日目 8月1日(金)

F 発注者・契約

齋藤隆司(日本郵政)
長廻拓史(広島大学)

司会: 崔彰訓(東京理科大学) 9:05~10:09

郵政建築における発注者としての役割に関する研究
工事請負契約約款における発注者・受注者間の役割及びリスク負担の
規定構造
建築プロジェクトの発注・契約方式によって建築主責任はいかに変化するか
~建築主責任の構造化~
発注者組織内のプロジェクトコミュニケーションに関する研究

古阪秀三(京都大学)

上田純里(東京大学生産技術研究所)

G 設計・生産プロセス①

平野吉信(広島大学)
西野佐弥香(武庫川女子大学)

司会: 持田泰秀(立命館大学) 10:09~10:57

多様化した建築生産方式における設計責任の位置づけに関する一考察
米国の建築設計職能の変遷
~ある設計事務所の成長過程から見た考察~
建築産業縮小状況における発注者のコミットメントのあり方に関する一考察

野城智也(東京大学生産技術研究所)

休憩 10:57~11:10

H 設計・生産プロセス②

峰政克義(建築づくり情報研究室)

司会: 齋藤隆司(日本郵政) 11:10~12:14

建築生産情報の発注者、設計者、施工者の協働による検討・確定過程に発
生する問題とその改善についての考察 【報告】
情報のやりとりから見た建築企画プロセスの特性に関する研究
ー設計事務所主導の建築プロジェクトの事例研究ー
あいまいな要求機能を顕在化させる手法についての一考察
東京大学新図書館計画をケーススタディとして
原因不確実性と結果不確実性から見る建築生産についての一考察

池田論(広島大学)

小笠原正豊

(東京大学生産技術研究所)
吉田敏(産業技術大学院大学)

昼食休憩 12:14~13:15

I ストック・FM

大館峻一(首都大学東京大学院)

讃岐亮(首都大学東京)

水出有紀(前橋工科大学)

橋本直子(佐倉市資産管理経営室)

内山朋貴(前橋工科大学大学院)

司会:山本英雄(大成建設) 13:15~14:35

公共施設整備に伴う町並み整備計画

-施設の評価と整備方針の検証-

【報告】

公共施設マネジメント広域連携がもたらす利便性向上効果の分析

新地方公会計制度の活用による公共施設評価指標の検討

所管と利用から見る公共施設の建物用途分類の実用性について

公共施設ベンチマーキング手法に関する研究

公開情報を利用した施設総量の検討

休憩 14:35~14:45

J 改修・維持管理

飯田昂平(工学院大学大学院)

関栄二(AGデザイン)

宇治康直(東洋大学工業技術研究所)

司会:吉田敏(産業技術大学院大学) 14:45~15:33

佐倉市庁舎改修計画の提案【報告】

経年に伴うマンションの大規模修繕工事の工事項目の変化に関する研究

連続して実施した修繕工事の工事内訳書の分析

分譲マンションの共用部分改修と専有部分改修の関係性に関する研究

・閉会挨拶 15:33~15:45 吉田敏(前出)

※ 本プログラムは変更になる場合があります。

最新のプログラムを本会ホームページでご確認下さい。

<http://www.aij.or.jp/index/?se=eventlist&ac=listdisp>

【発表者の方へ】

既にご案内のように、2012年度よりコンピュータウイルス感染予防のため、発表用パソコンは各発表者の方にご用意いただく方式となっておりますので、ご用意の方よろしくお願ひいたします。

特別企画アンケートへのご協力のお願い

第30回建築生産シンポジウムでは、30年の区切りとして建築生産の30年を振り返るとともに、今後どうあるべきかを考える企画を第1日目(7月31日)の夕方に予定しています。その中でパネルディスカッションも企画しており、皆様から、別紙のアンケート用紙により4つのテーマについて登壇者に聞きたいこと、また将来どうあるべきかについてご意見を募り、有意義な討議のための参考としたいと考えています。是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。

締切: 2014年7月11日(金)

アンケート返送先:(メールかFAXでお送りください。)

・メールの場合 KentaroTokura@smcon.co.jp (三井住友建設建築管理本部 戸倉)

までPDFファイルをお送りください

・FAXの場合 03-4582-3220 三井住友建設建築管理本部 戸倉までお送りください。

・アンケート用紙

<http://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2014/140711.pdf> ←アンケート用紙はこちらからダウンロードしてください。